

団体・組織の概要

※太枠内、必須事項。その他は、該当する項目を記載してください。

団体/会社名	特定非営利活動法人 ひまわりの種の会		
代表者	新保 留美子	担当者	新保 留美子
所在地	〒 006-0016 札幌市手稲区富丘 6 条 7 丁目 6-28 TEL:011- 684- 7651 FAX:011- 684- 7651 E-mail: rumisunsun@ybb.ne.jp		
設立の経緯 ／沿 革	太陽光を中心とした自然エネルギーの普及と環境教育を目的に幼稚園の保護者サークルとして任意団体ひまわりの種の会を設立。資源回収、親子自然体験などの活動を実践。その後、札幌大通り公園の大型イベントで太陽光発電と風車で明かりをともし「ソーラーイルミネーション」を企画。市民太陽光発電実行委員会を設立。ソーラーイルミネーション継続のため 2003 年に法人化。現在に至る。		
団体の目的 ／事業概要	持続可能な社会へ向けて、太陽光発電を中心とした自然エネルギーの普及促進を中心とした環境保全活動を身近で実感できる市民目線で実践することを目的としている。これまでに、さっぽろホワイトイルミネーションで自然エネルギーを用いて明かりを灯す「ソーラーイルミネーション」、市民参加型の太陽光発電所設置のための「てるてるプロジェクト」などに取り組む。また、これらのハード的な取り組みに加えて、子どもたちでも簡単に取組める環境教育ゲーム「ガバ・チョ」を開発し学校、イベント等で継続的に実践している。		
活動・事業実績 (企業の場合は 環境に関する 実績を記入)	【平成 13 年度】「電気を使わない楽器のコンサート」開催 大通り公園「市民太陽光発電ソーラーイルミネーション／省エネツリー」実施 【平成 14 年度】「ソーラービオトープ」幼稚園に設置 【平成 15 年度】「ソロモンとつなぐ未来の架け橋」国際交流学習会実施 「北国から発信しよう！自然エネルギーのある暮らし」フォーラム開催 【平成 16 年度】札幌市委託事業「太陽光発電デモンストレーション」実施。 「夏休み新・旧エネルギー体験ツアー」実施 韓国テグ市「ソーラーシティサミット」参加 札幌円山動物園市民太陽光発電所「てるてる発電所」設置 【平成 17 年度】環境教育プログラム「エコトレッドゲーム」開発・実践 人材育成セミナー3 回連続講座実施 【平成 18 年度】NEDO補助事業「北国の暮らしを快適にする新技術」開催 環境教育ゲーム U S I 開発 【平成 19 年度】環境省委託主体間連携事業「屋根リフォーム時の省エネ対策」 【平成 20 年度】洞爺湖サミット記念行事「環境総合展」出展参加 地球環境基金助成金事業環境教育ゲーム「ガバ・チョ」開発 日本シュミレーション&ゲーミング学会参加 大通り公園「太陽と風のエコ・イルミネーション」実施		
ホームページ	http://himawari.her.jp/		
設立年月	2000 年 4 月 *認証年月日 (法人団体のみ) 2003 年 8 月 19 日		
資本金/基本財産 (企業・財団)	0 円	活動事業費/ 売上高 (H20)	280万円
組 織	スタッフ／職員数 25 名 (内 専従 1 名) 個人会員 25 名 : 法人会員 2 名 : その他会員 (賛助会員等) 0 名		

政策のテーマ

札幌の街灯に LED を推進する協議会設置事業

■政策の分野

- ・⑨持続可能な地域づくり
- ・⑧社会経済のグリーン化

■政策の手段

- ・⑨組織・活動
- ・⑬国民の参加

団体名：特定非営利活動法人ひまわりの種の会

担当者名：新保 留美子

■キーワード	街灯のLED化	積雪寒冷地モデル	25%削減と経済効果	住民参画	他地域へ波及
--------	---------	----------	------------	------	--------

① 政策の目的

- 25%削減目標達成の具体的方策として、公共で利用される電気の削減拡大を推進する。
- 公共的な電気利用設備「街灯」のLED化を推進しグリーン化したまちづくりを目指す。
- 街灯のLED化により、CO2削減と経済効果を同時に目指す。
- グリーン化した街づくりのための住民参画による合意形成と普及における課題解決を進める。
- 街全体のグリーン化モデルを必要とする積雪寒冷地他地域への波及モデルとする。

② 背景および現状の問題点

- LED街灯の設備技術は日進月歩であるが、積雪寒冷地特有の気象環境等による設備の安全性、耐久性等の面で発展途上である。
- LED街灯の特徴である照明角度、発光効率とは従来型街灯との違いがあり、変換には住民の合意形成が必要とされる。
- 街灯導入における実証実験においては導入される地域住民による照度、設備の安全性等、導入実態の調査が必要である。

③ 政策の概要

【札幌市内の街灯をLED化を推進する協議会の設置】

協議会には札幌市関係部局、地域住民、企業と今後導入の可能性のある公園管理課等が参画。市民が接点を持ちづらい、行政機関各部局、企業とがスムーズに連携し、まちづくりのグリーン化を促進するフラットな組織を構築。

①キャラバンの実施

LED導入計画の地域周知と課題解決のための場を設ける。

LED街灯の現状課題を解決するための道筋を付ける住民参画の場を設け、LED導入による環境負荷低減と経済効果について、意見交換を交えた学習会を実践する。

②他地域との情報交換

積雪寒冷地における街灯のLED化には課題も多いが、大きな二酸化炭素削減効果と経済効果を期待できる。

街灯のLED化をまちづくりのグリーン化として取組事例は北海道内各自治体のみならず、本州の積雪寒冷地他都市へ実践の拡大を望むことが出来る。

そのために実践のプロセスを他地域と共有し、各地域の特色を活かした取組みへと発展するために、地域との情報交換を行っていく。

③メーカーとの情報交換

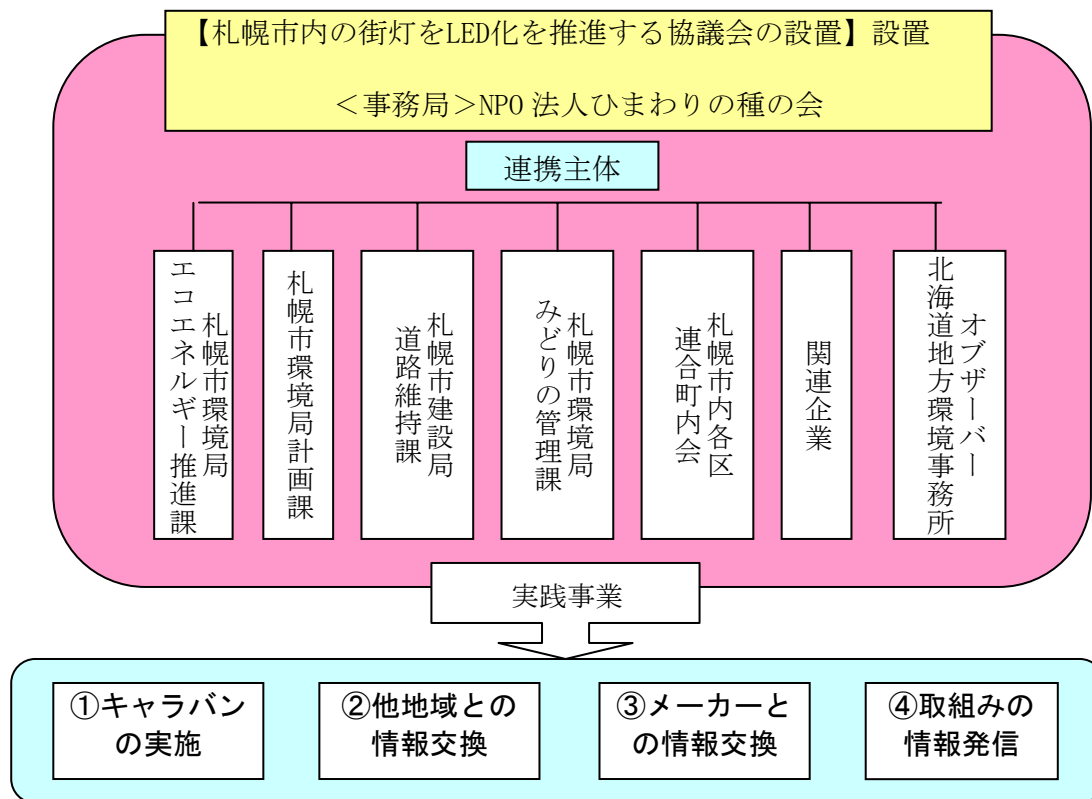
現在実証実験を行っている各メーカーの製品は、積雪寒冷地特有の気象により、つららが出来たり、結露などのトラブルが見受けられる。導入拡大に向けたリスクを軽減する為、現地での調査から見えてくる課題を製品の信頼性を高めるために企業へフィードバックしていく。

④取組みの情報発信

取組みのプロセスを随時情報発信することで事業に対する理解を得、効果の発信を面積として拡大して行く。

④ 政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

関係各所が主体となり協議会を設置。
協議会が中心となり①～④事業を継続的に実践していく。



⑤ 政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

【街灯の LED 化実証実験担当課】

札幌市建設局道路維持課

【自然エネルギー・省エネルギー導入促進担当課】

札幌市環境局エコエネルギー推進課

【その他札幌市関係課】

札幌市環境局みどりの管理課

札幌市環境局計画課

【住民主体】

札幌市内各区連合町内会

【導入設備主体】

関連各企業

⑥ 政策の実施により期待される効果（具体的にお書きください）

【札幌市全体の街路灯の数】 150 677 基

●うち札幌市の管理 76.8% ● 設街路灯 23.2% ●ナトリ ム灯 80%

【現 で かる札幌市の電気 金】

年度の照明 10 円



【導入を促進すると】

灯あたり、

● 灯 80w から LED33 に交換すると 118 の CO2 を削減（現 の イナス 63%）

●電気 は 2 808 円の現象（現 の イナス 48%）

される効果

■札幌市の を 減

■街灯導入事業者の活性化

■地域住民の 化 に対する理解促進と参加

■ 実な 化 削減

■他地域への波及による %削減の実現

■まちづくりのグリーン化を促進

その他・特記事項

平成21年度、特定非営利活動法人ひまわりの種の会は、
「大型イベントの自然エネルギー化を進める 太陽と風のエコイルミネーション」事業で
北海道経済 業局 回「北国の省エネ・新エネ大 」新エネルギー を 。